



オエノノホールディングス株式会社
CORPORATE PROFILE

ごあいさつ

オエノングループは1924(大正13)年に北海道旭川において、北海道内の焼酎製造4社が合併して設立された合同酒精株式会社を母体とする総合酒類メーカーです。2024年10月に創立100年の節目を迎えました。これもひとえにお取引先様はじめ皆様からのご支援とご愛顧の賜物であり、心より感謝申し上げます。

当社の創業者である初代神谷傳兵衛かみやでんべえは、1880(明治13)年に「みかはや銘酒店」(のちの「神谷バー」)を開業し、1900(明治33)年には北海道旭川で「民間初のアルコール製造」を開始しました。これらが当社の原点となります。

当社グループは「自然の恵みを活かし、バイオ技術をベースに、人々に食の楽しさと健やかなくらしを提供します。」を企業理念に、長年に渡り、酒類製造で培ったバイオテクノロジーを基盤とした商品・サービスを世に送り出してまいりました。

そして現在、持株会社体制の下、当社グループ各社の機能分担により、焼酎・チューハイ・販売用アルコールなどの製造販売を行う「酒類事業」、酵素・発酵受託・診断薬を手掛ける「酵素医薬品事業」、「不動産事業」などを展開しております。

昨今、私たちを取り巻く社会・経済環境の変化は目まぐるしく、少子高齢化や人口減少、地球環境問題、そして食品に対する安全や健康意識の高まりなどさまざまな変化が生じております。そのような中でも私たちオエノングループは、お客様に食の楽しさや健やかなくらしを提供することを第一とし、これからも常にお客様の視点に立った、「安心」「安全」をお届けしてまいります。

オエノンホールディングス株式会社
代表取締役社長 西永 裕司



商号[オエノン]の由来

オエノン
OEON

すべてのものをお酒に変える力を持つという伝説の女神、「オエノ」。ギリシャ・ローマ神話では「オエノ」は酒神「バックス」にその力を授けられました。

いつまでもお客様と喜びを共有するために、新しい商品・サービスを常に提供していきたい。——これがオエノングループの理念です。

バイオ技術の象徴である「オエノ」をいはずえとし、この理念を実現するために、バイオ技術をベースとしたさらなる事業の展開(「オン」)を目指し商号としました。

企業理念

自然の恵みを活かし、
バイオ技術をベースに、
人々に食の楽しさと
健やかな暮らしを提供します。

概要

社名	オエノンホールディングス株式会社 (英文社名:Oenon Holdings, Inc.)
設立	1924年(大正13年)10月31日
資本金	6,946百万円 〔2024年(令和6年)12月31日現在〕
代表者	代表取締役社長 西永 裕司
売上高	84,104百万円 〔2024年(令和6年)12月31日現在〕
所在地	東京都墨田区東駒形1丁目17番6号
電話番号	03-6757-4580(代表)
事業内容	持株会社

ホームページ/SNS公式アカウント

オエノングループ
ホームページ
<https://www.oenon.jp/>



オエノングループ
公式Youtubeチャンネル
<https://www.youtube.com/c/oenongroup>



オエノングループ
公式Instagramアカウント
https://www.instagram.com/oenon_official/



オエノングループ
公式Xアカウント
https://x.com/oenon_official

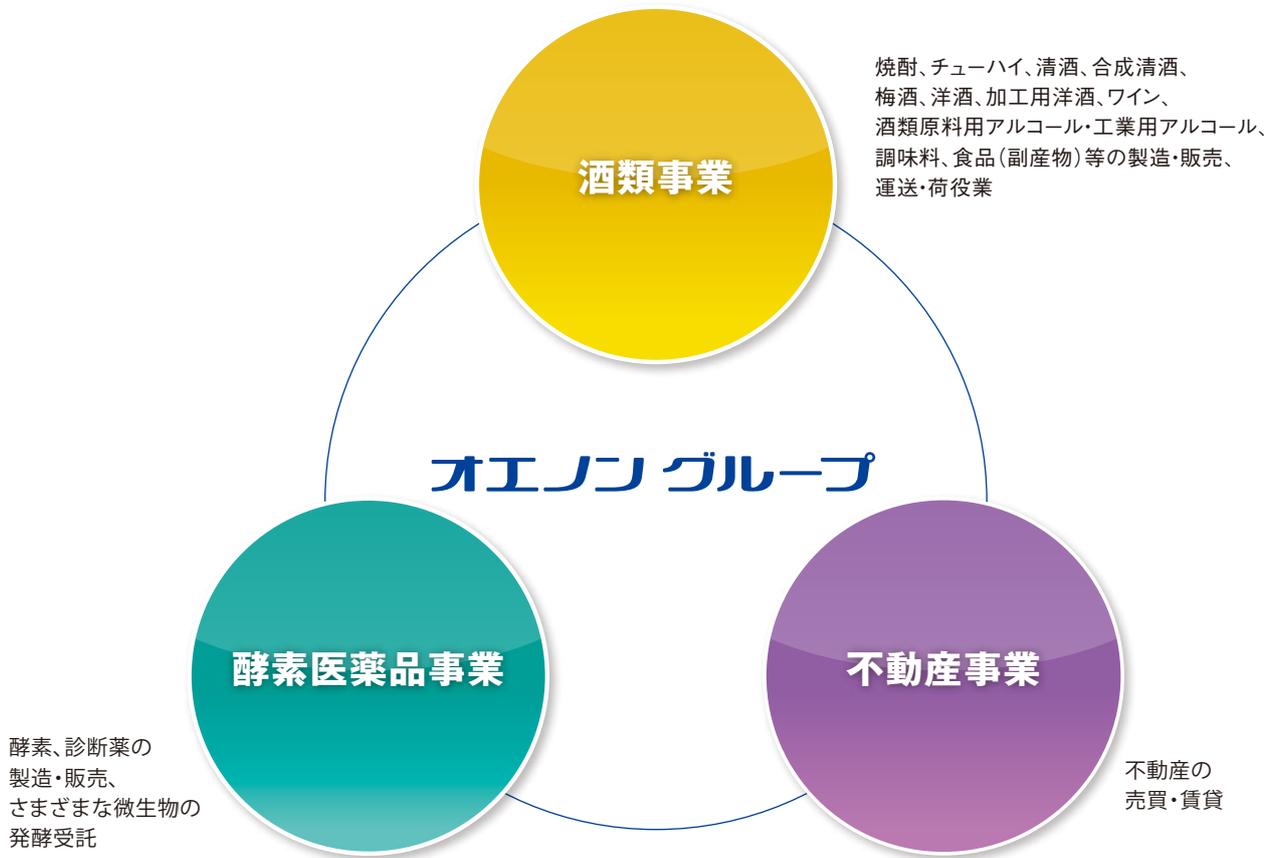


沿革

- 1880年 初代神谷傳兵衛が浅草に「みかはや銘酒店」(現:神谷バー)を開業
- 1893年頃 「電気ブラン」を発売
- 1900年 日本酒精製造(株)を開設、民間初のアルコール製造を開始
- 1903年 牛久醸造場(現:牛久シャトー)にて日本初の本格的ワインづくりを開始
- 1924年 北海道内の焼酎製造会社4社(神谷酒造(株)旭川工場、東洋酒精醸造(株)、北海道酒類(株)、北海酒精(株))が合併し、旭川市に合同酒精(株)を設立
- 1946年 東北アルコール工業(株)を合併、八戸工場とする(2013年廃止)
- 1949年 東京証券取引所に株式を上場
- 1955年 葵酒造(株)を合併、清水工場とする
- 1956年 菊美酒造(株)を合併、東京工場とする
- 1960年 神谷酒造(株)(1940年に浅草の(株)神谷傳兵衛本店が改称)を合併、吾妻橋洋酒工場とする
- 1961年 太陽醸造(株)を合併、芝浦工場とする
- 1963年 本店所在地を旭川市から東京都中央区に移転、吾妻橋洋酒工場、東京工場、芝浦工場を集約、千葉県松戸市に東京工場建設
- 1964年 西宮酒精(株)の株式を取得、西宮工場とする(2000年廃止)
- 1968年 (株)サニーメイズ(現:持分法適用会社)を設立
- 1970年 八戸工場内に酵素工場(現:酵素医薬品工場)を建設
- 1979年 ゴードー倉庫(株)(現:ゴートック(株))、(株)ワコーを設立
- 1980年 福徳長酒類(株)が「博多の華」を発売
- 1992年 しそ焼酎「鍛高譚」を発売
- 2001年 福徳長酒類(株)および秋田県醗酵工業(株)がグループに加入
- 2003年 純粋持株会社制を導入し、オエノンホールディングス(株)に商号変更、新たに子会社 合同酒精(株)を設立、富久娘酒造(株)(現:オエノンプロダクトサポート(株))がグループに加入
- 2007年 北の誉酒造(株)の株式を取得(2016年合同酒精(株)が吸収合併)
- 2008年 牛久シャトーが文部科学省より国指定重要文化財に認定される
- 2019年 本社を東京都中央区から墨田区に移転
- 2020年 牛久シャトー日本遺産認定
- 2022年 旧オエノン銀座ビル跡地にホテル「ザ ロイヤルパーク キャンパス 銀座コリドー」を建設(ホテル運営:三菱地所ホテルズ&リゾーツ(株))

事業紹介

オエノングループは、長年培った発酵技術を核とするバイオテクノロジーをベースに、酒類事業、酵素医薬品事業、不動産事業などを展開しています。



酒類事業

焼酎、チューハイをはじめ、清酒、リキュール、スピリッツなど幅広く展開しています。しそ焼酎「鍛高譚」、[博多の華]シリーズや「ビッグマン」など焼酎甲類・焼酎乙類・混和焼酎をフルラインアップし、「NIPPON PREMIUM」シリーズなどのチューハイや、リキュール「電気ブラン」など多種多様な商品を製造・販売しています。さらに、組織小売業との協業によるプライベートブランドについても積極的に取り組んでいます。その他、酒類原料用ならびに工業用アルコールの製造・販売も行っています。

酵素医薬品事業

各種酵素および診断薬等の製造・販売を行っています。主力商品である乳糖分解酵素ラクターゼは、牛乳を飲むとおなかがゴロゴロしてしまう乳糖不耐症解消という本来の機能に加え、乳糖が分解されることで甘みが向上する効果があるため、砂糖不使用でも甘みを感じることができます。その他、酒類事業で培った発酵技術と免疫反応を利用した技術を活かし、乳酸菌を軸としたさまざまな微生物の発酵・精製や培養の受託を行う発酵受託ビジネスを行っています。



グループ会社



ビッグマン すごむぎ 耐ハイ専科 しそ焼酎「鍛高譚」 TAN TAKA TAN SHISO梅酒 電気ブラン NIPPON PREMIUM モメサンメルロー Chateau TAISETSUNOKURA 元禄美人

合同酒精株式会社

事業内容 酒類・食品・酵素・医薬品の製造販売
 本社 〒130-0005 東京都墨田区東駒形1-17-6

設立 2003年(平成15年)7月1日
 電話番号 03-6757-4020(代表)



しそ焼酎「鍛高譚」
 公式Xアカウント
https://x.com/tantakatan_godo



しそ焼酎「鍛高譚」
 公式Instagramアカウント
https://www.instagram.com/tantakatan_godo/



ワインのある暮らし
 合同酒精のワイン公式
 Instagram
https://www.instagram.com/wines_godo/



博多の華むぎ 博多の華スモーキーオーク 宇治抹茶焼酎 博多の華三年貯蔵 博多の華麦カップ CANBASY さつま美人黒麹仕込 米だけのす〜っと飲めてやさしいお酒 純米吟醸酒 富久娘上撰 福徳長上撰 和食と合わせる焼酎蔵のウキスキー

福徳長酒類株式会社

事業内容 酒類・食品の製造販売
 本社 〒271-0064 千葉県松戸市上本郷字仲原250

設立 1953年(昭和28年)7月1日
 電話番号 047-315-5020(代表)



博多の華/福徳長酒類
 公式LINEアカウント
<https://page.line.me/158fpzbd>



そふと新光 あいぼう ブラックストーン41% 一滴千両大吟醸ピンクラベル 一滴千両純米大吟醸一回火入れ 一滴千両大吟醸 秋田サワー塩レモン デラックス梅の実しずく

秋田県醱酵工業株式会社

事業内容 酒類・食品の製造販売
 本社 〒012-8511 秋田県湯沢市深堀字中川原120-8

設立 1945年(昭和20年)4月23日
 電話番号 0183-73-3106(代表)



秋田県醱酵工業
 公式Instagramアカウント
https://www.instagram.com/akihatsu_official/



オエノンプロダクトサポート株式会社

事業内容 酒類・食品の製造販売
 設立 1951年(昭和26年)11月21日
 本社 〒657-0864 兵庫県神戸市灘区新在家南町3-2-28
 電話番号 078-802-7800

株式会社ワコー

事業内容 酒類・食品の販売
 設立 1979年(昭和54年)11月12日
 本社 〒271-0064 千葉県松戸市上本郷字仲原250
 電話番号 047-703-6311

ゴーテック株式会社

事業内容 倉庫業
 設立 1979年(昭和54年)10月23日
 本社 〒271-0064 千葉県松戸市上本郷字仲原250
 電話番号 047-361-1271

株式会社オエノンアセットコーポレーション

事業内容 不動産の売買、賃貸
 設立 1998年(平成10年)11月5日
 本社 〒130-0005 東京都墨田区東駒形1-17-6
 電話番号 03-6757-4587

持分法適用関連会社

株式会社サニーメイズ

事業内容 加工用澱粉の製造販売
 設立 1968年(昭和43年)11月21日

本社 〒424-0035 静岡県静岡市清水区横砂南町2-1
 電話番号 054-365-5180(代表)

拠点

生産拠点



1
**合同酒精株式会社
旭川工場**
 〒078-8334
 北海道旭川市南四条通20-1955
 TEL.0166-31-4131



2
**合同酒精株式会社
苫小牧工場**
 〒059-1371
 北海道苫小牧市字弁天1-11
 TEL.0145-26-8520



3
**合同酒精株式会社
酵素医薬品工場**
 〒031-0072
 青森県八戸市城下2-11-67
 TEL.0178-71-1204



4
秋田県醱酵工業株式会社
 〒012-8511
 秋田県湯沢市深堀字中川原120-8
 TEL.0183-73-3106



5
**合同酒精株式会社
東京工場**
 〒271-0064
 千葉県松戸市上本郷字仲原250
 TEL.047-362-1151



6
**福德長酒類株式会社
葦崎工場**
 〒407-0175
 山梨県葦崎市穂坂町宮久保5228-1
 TEL.0551-23-5843



7
**合同酒精株式会社
清水工場**
 〒424-0035
 静岡県静岡市清水区横砂南町2-1
 TEL.054-366-1151



8
**オエノンプロダクトサポート
株式会社**
 〒657-0864
 兵庫県神戸市灘区新在家南町3-2-28
 TEL.078-802-7800



9
**福德長酒類株式会社
久留米工場**
 〒830-0063
 福岡県久留米市荒木町荒木1200-1
 TEL.0942-26-3131



研究開発



10
**合同酒精株式会社
酵素医薬品研究所**
 〒271-0064
 千葉県松戸市上本郷字仲原250
 TEL.047-362-1158

サステナビリティ

グループ企業理念の下、具体的な活動テーマを5つとして、CSR活動に積極的に取り組んでいます。CSR活動を通じて、グループ企業価値の最大化を図るとともに、併せて社会とともに「将来価値の共創」を実現します。

活動テーマ



企業統治

- 経営の監督機能と執行機能を明確に区分した持株会社体制の採用
- 内部統制、コンプライアンスに関わる課題等を討議するCSR・コンプライアンス委員会を定期的に開催



人財活用

- 有給休暇取得促進、時間外労働の削減など、ワークライフバランスを充実
- 特別な休暇制度を拡充
- 障害者雇用の促進や雇用延長に対する積極的な取り組み
- 副業・兼業制度の導入による主体的キャリア形成の推進



品質

- 徹底した品質保証・管理体制の維持と、安心・安全な商品やサービスの提供



環境

- 商品の販売を通じ自治体の環境保全活動を支援
- 廃水処理を行い、水質環境保全に貢献
- 省エネルギーの取り組み
- 温室効果ガス削減の取り組み



コミュニティ

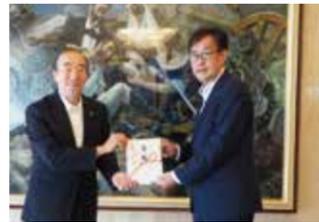
- 文化芸術支援活動を通じた地域との交流を推進
- 従業員のボランティア活動の支援を通じた地域社会とのコミュニケーションの充実
- 株主優待や商品の販売を通じた、人道支援活動への寄付
- 次世代育成支援を目的とした取り組み
- 除菌用アルコールの寄付・供給をはじめとした地域社会への貢献



次世代育成支援「会社見学会」を実施



新入社員によるボランティア研修実施



株主優待制度や商品を通じた人道支援活動への寄付



台風の影響により断水した静岡県静岡市清水区において飲料水を提供

SDGs達成に向けた取り組み

CSR活動を通じて、国連が提唱するSDGsを活動の目標に取り入れ、積極的に取り組んでいます。

温室効果ガス削減量の進捗

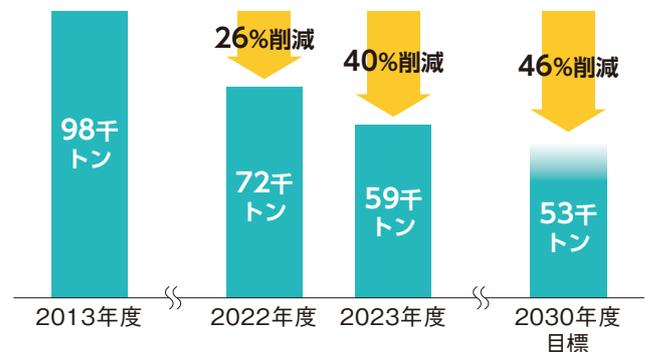
オエノグループでは、2030年度までに温室効果ガス排出量（Scope1+2）を2013年度比で46%削減する目標を掲げて活動しており、2023年度（2024年3月末）で40%削減となっております。

【主な取り組み】

- 東京工場で開始した「グリーン電力の購入」や葎崎工場、東京工場、酵素医薬品工場、清水工場で設置した「太陽光発電システム」といった温室効果ガスを排出しない再生可能エネルギーの使用
 - 清水工場の「自己熱再生システム」や久留米工場の「蒸留液濃縮装置」更新などの省エネタイプの設備導入
 - 清水工場や苫小牧工場での重油からガスボイラーの優先使用によるCO₂削減策
- オエノグループでは、46%の削減目標を早期に実現し、さらなる高みに向けて様々な取り組みを行ってまいります。



温室効果ガス排出量の推移（CO₂換算） （削減量は2013年度比）



オエノグループのサステナビリティに関するさまざまな取り組みについて、ホームページで詳しく紹介しています。

<https://www.oenon.jp/csr/>





オエノ
DENON